

1. 調査報告概要表

作成日 平成 21 年 8 月 30

【評価実施概要】

事業所番号	3472300288
法人名	有限会社 ひまわり
事業所名	グループホーム さくら
所在地	広島県大竹市南栄2丁目6-31 (電話) 0827 53 3130

評価機関名	特定非営利活動法人 医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4-46-9
訪問調査日	平成21年8月25日

【情報提供票より】平成21年8月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 9 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	12 人, 非常勤 4 人, 常勤換算 14.6

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋建		
	1階建て	1階	～ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり		11,000 円	

(4) 利用者の概要(8月12日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	6 名	要介護2	6 名		
要介護3	4 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 85.5 歳	最低	70 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	いしいケアクリニック
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な住宅地に位置するグループホーム「さくら」は認知症共同生活対応型介護を目的とした建物でありながら、外観は和民家風で玄関周りの植木や草花、落ち着いた格子戸、内部の履物箱に至るまで和の配慮が行き届いています。やわらかな日差しが入る木組の見える天井の下、リビングでは笑顔の利用者と職員の明るい談話や手作業の風景が所々に見受けられ、穏やかな支援がされています。開設当初から意欲的に運営に携わっている各ユニットの管理者2名は経験も積まれて、利用者や家族又職員との信頼関係も一層深められ、地域により開かれた施設をモットーに日々努力を重ねられています。

【重点項目への取りう】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価をもとに本年度の自己評価をされ、反省点の把握され改善策を掴みサービスの向上に取り組まれている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価の項目の一題一題を真摯に検討され、「出来ている事」「今後も改善してゆく事」の把握をされてサービスの向上に役立つ意見が述べられている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議への出席者は地域自治会長、老人会長、民生委員、市職員、家族の代表等でホームの日常や行事の報告など通常の議題が主になっているが、今後はより地域に溶け込める為の建設的な議題を提議されたいとの希望が述べられた。災害対策について地域よりの協力が得られる為の検討も期待されます。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	大半の家族は面会時の職員やホームの雰囲気を変えられ受け止められて、意見交換が容易に行われている。行事の報告や生活のひとコマは2か月に1回さくら通信で送られ家族に安心感をもちさせている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域自治会に加入し活動可能な利用者は職員と共に祭りや餅つき大会に参加し交流している。今後は地域の学校や保育園等と交流をされる意向でその推進が期待されます。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域に親しまれる施設を目指して法人としての理念が作られ、法人理念に基づいた施設独自の努力目標が掲示されている		大枠となる法人理念もミーティングの場所などに明示され、職員全員で共有されることが望まれます
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	東西各棟で理念に基づいた努力目標が玄関脇に掲示されミーティング時にも印刷配布され、職員で共有されている		
ひょうが					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区自治会に加入し、活動可能な入居者は職員と共にお祭りや餅つき等の行事に参加し交流している		今後は地域の学校や保育園等枠を広げて交流をされる意向でその推進が期待されます
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価をもとに本年度の自己評価をされ、反省点も取り入れ改善策も作られている		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に一回の運営推進会議は地域自治会長、老人会長等の積極的な参加があり、建設的な意見や助言を得て、職員間でも検討し共有しつつサービスの向上に活かしている		

グループホーム さくら

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議に市職員の参加はあるが、現状は形式的である		今後は介護保険担当職員に制度の詳細な説明や、疑問点等も提案されサービスの向上につなげられる事が期待されます
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的に電話連絡を行い、2か月に1回発行の「さくら通信」で写真入りで近況をお知らせしている。家族の面会時には必ず健康状態や近況を報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	大半の家族は面会時のホームの雰囲気や職員の支援の様子を良好と受け止められて、意見交換は容易に行われている		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	2~3か月前は異動があり、その影響を最小限にする為永年在籍職員の協力が大きな力になり、落ち着きを取り戻せた		職員の異動による影響は面会に来所される家族も敏感に受け取られているので、今後も一層の注意が求められます
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は管理者や職員を積極的に内外の講習や研修に参加させる方針であり、研修参加後は参加レポートで他の職員へ伝達されて共有されている		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者(管理者)会議では法人内交流が行われ、参考意見を持ち帰りサービスの向上に取り入れている。又ケアマネ会での交流も役立たせている		一般職員の交流は地域性もあり、他社グループホームとの交流は現状では困難との当ホームの意向であった

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員一人ひとりが利用者に統一した支援が出来るように日常よりミーティングし馴染める雰囲気作りに努めている又家族も大変協力的である		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食後のひと時を職員と談笑しつつふきんや洗濯物の片づけ等、その人らしい時間の利用をされている。廊下やリビングの壁面には日常されている川柳や絵画、押し絵等が各所に展示され生活に彩りが豊富にもたらされている事が覗える		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者と職員は家族のように会話が交わされている光景が見受けられ、意向の把握はかなりスムーズに行われている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月一回のケアカンファレンスには家族の了承を得た利用者一人ひとりの日常のサービス目標が表され職員全員で共有され、介護計画書が作成されている		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6か月毎にモニタリングが行われ又変化が起きた時点で計画書の変更が行われている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族が参加できる行事を計画し、他の家族との交流が出来る機会を作っている		地域に開かれた施設になることを目標に行事に取り組まれている。現況においては新型インフルエンザ流行に注意を払われて居るため外部との交流を自粛されている
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に1回近隣のかかりつけ医の往診が行われ利用者の日常の状態を報告している。入居者の通院については家族の協力を得て希望通りに行われている		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化に対してはなるべく早い段階で家族と医師との話し合いで方針が決められている。職員間でもその方針に全面的に協力する		現況においては当施設での看取りは行えない方針である
で					
1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の書類は取扱いに十分配慮がされ守られている。職員の言葉かけは個人を尊重され丁寧にされている		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	訪問当日の東西両リビングでの利用者と職員の談笑の光景より、利用者本位の日常生活が守られている事が窺え、又職員との面談内容からも利用者が大切に支援されている事が窺えた		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前の準備、後片付けは入居者の幾人かが主体となって行われ、役割が定着している方もある		メニューについては法人内で統一して栄養士に依って作られているが時々行事食を取り入れて喜ばれている。おやつは希望に沿うようユニットで利用者を交えて作られている
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	2日に一回のペースで入浴支援はされているが、希望があれば毎日対応できる。一人ひとりにゆっくり楽しんでもらうことを心がけて支援されている		
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	敷地内にある菜園には利用者職員が協力されてトマト、キュウリ、ナス、さつまいも等が作られ、収穫を楽しまれている。食事の準備、後片付け、掃除、洗たく等希望に応じて役割が支援されている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、散歩に同行支援している。庭の菜園の手入れや収穫は外出支援と日常生活リハビリの一役となっている		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることの弊害は理解しているが、玄関は構造上転倒の危険性が伴う為家族の了解を得てやむなく施錠している。リビングから広いベランダへは昼間は常時解放されている		今後も施錠しない支援に向けて取り組むとの管理者の意向があった
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は入居者を交えて定期的に行われている		運営推進会議でも議題にされ、地域より災害時等に協力をえられる様、取り決めが行われることが期待されます

グループホーム さくら

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分摂取量等のチェック表があり一人ひとりの摂取管理がされ、好きな飲み物や少量ずつの補給も行われている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングの窓は大きく、平屋建ての特質が活かされた木組みの見える天井は穏やかな雰囲気を出している。広いウッドデッキへはリビングより自由に出入りできて、利用者に解放感がもたらされている		廊下続きで別のユニットの利用者がリビングに自由に出入りでき双方の温かな交流が図られている事を特記したい
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームでは「出来るだけ自宅で使用していた物を持ち込んでもらう」と入居時に要望され、居室では使い慣れたベッドやタンス、椅子等が一人ひとりの好みのレイアウトで使用されている。		